

事業計画書

現在の地域課題に対する本事業での実施内容	佐久市の中でも望月地区は過疎地域である。人口減少と高齢化は、地域での暮らしにもさまざまな困難を生んでいる。過疎の中でも住民が生き生きと暮らしていくために、地域文化の伝承や普及は極めて大切なことである。望月小唄の普及で、地域の元気づくりに貢献したい。
対象となる人・範囲	望月小唄保存会への入会を佐久市民に呼び掛け、95周年記念大会参加を佐久市全体に宣伝する。
事業の効果、達成目標 (達成目標はできる限り数値で示すこと)	歴史の中で育てられてきた民謡文化を、さらに佐久市全体の地域に広め、また次世代に継承していく。望月小唄95周年記念の集いの中で、長野県下の民謡クラブと交流し、お互いの良さを学び合い、今後の活動に生かしていく。県下10余の民謡クラブに呼び掛け、出演を依頼し、佐久市全体にご来場を呼び掛け、300人の参加を期待する。この活動を通して望月小唄保存会の会員が増えるよう呼びかけを行う。望月小学校の運動会で全校児童が望月小唄を踊り、その指導と伴奏を保存会が担当する。
詳細（活動内容・方法・スケジュール等をできるだけ詳しく、別添資料のある場合はその旨を記載する）	望月小唄保存会への入会を佐久市民に呼び掛け、95周年記念大会参加を佐久市全体に宣伝する。保存会の練習は月2回。「望月小唄95周年の集い」は駒の里ふれあいセンターで10月又は11月に開催する（会場借用の都合）。
重点テーマに該当する理由	※該当する場合のみ記入
翌年度以降の取組	榊祭りをはじめ、佐久地域の文化団体、福祉施設、学校などの事業に参加し、出演する。望月小学校では運動会に全校生徒で望月小唄を踊るので、その指導や伴奏を担当する。